

横尾議員 質問いたします。まず1番、防災計画見直しについて、今、国、県から指針が無いなか町の今後の取り組み及び進め方について、工程表はどのようなものなのでしょうか、お聞きしたいと思います。2番、健康管理センターについて、これから昼の議案に出てまいります、指定管理者の指定が可決された場合、7月1日からの運営に支障はないのか。新規事業者との契約、引継等が考えられるため今後の日程も考慮し、利用者に案内をするべきでは。利用者には休館となるのではとの不安があります。周知は町の義務であると思います。3番、道路の段差、不陸整備、凹凸の面ですが、改善、改修についてお伺いしたいと思います。交通弱者にとって、先程、町長の方からもありましたが、要介護者に対してスクーターをとのことがありましたが、道路の通行時や公共施設等の出入時に路面の段差があっても危険であります。改善、改修の必要がある場合についてはどう対応、処理していくのでしょうか。4番、観光振興について、観光に対して町はどう捉えているのか、考えているのかをお伺いしたいと思います。現在、牟岐町には観光協会の組織はありますが、民間の組織であり、姫神祭り、花火の打ち上げがメインの事業であり、しかも寄付を募らなければ成り立たない。そんな現状では、いずれ観光協会そのものがなくなるというふうに危惧されます。観光資源として、千年サンゴ、大島、出羽島等誇れるものがあるのに活かされていらないと思います。誠に残念でなりません。また、この間、県が四国の右下、新定番観光ルートというものを出しております。この中で牟岐町のことが出羽島とか2、3の施設しか載っておりません。誠に残念です。これから生き残っていくためにも観光の面にもしっかり目を向けていっていただきたいと思っております。5番目に職員採用についてでございますが、今やIT、情報通信技術社会の時代の中で情報処理技術者の雇用は一般企業では当たり前のこととなっております。この現状の中、公務員試験に専門職としての資格者と認められていないことに違和感を覚えますが、これからの時代を担う世代には、せめて採用基準として取り入れられないか、是非、牟岐町独自の採用基準として考慮していただきたいと思っております。どうお考えになるのでしょうか。続いて、6番、各施設建設後の跡地について、施設も含めてなのですが、清水地区更新住宅建設、統合校舎建築、保育所統合建設等の跡地、また、施設の今後の利用の構想は、どういうふうに今の時点でお考えになっているのでしょうか。続いて、7番、ふるさと納税について、牟岐町は今人口5千人を切っております。財源確保として、ふるさと納税制度の周知、理解、了解の上納税、寄付行為になりますが、していただける町出身者に呼びかける必要があるのではないのでしょうか。昨日の徳島新聞にちょうどふるさと納税の記事が載っていました。これによると、牟岐町

は4件で405千円のふるさと納税をいただいております。他町と比べてももう少し頑張れるのではないかと考えております。また、お願いするばかりではなく、ふるさと納税をしていただく代わりに牟岐町の情報、イベント、そういった情報の発信を合わせてしていけたら、もっと増えるのではないかと考えています。最後になりますが、8番、南阿波よくばり体験についてですが、よくばり体験事務局より、急激に需要が増えていますと、それに対して供給が間に合わないということを聞いております。なので、受け入れを断っていると、こういうことは牟岐町として把握できているのでしょうか。また、よくばり体験事務局が牟岐町、この役場内にあることのメリットが活かしきれていないのではないかと考えています。縦割り行政の弊害があり、情報の共有、情報発信等の部門を設けなければならないのではと考えています。地元として受け入れ体制をいち早く整えるのではないかと考えますが、如何でしょうか。以上、よろしくお願いいたします。

枅富議長 福井町長。

福井町長 横尾議員のご質問にお答えいたします。まず防災計画の見直し工程表ということでございますが、榎谷議員のご質問でもお答えいたしましたが、現在、国等の機関で震災モデルの見直しを行っており、国においては、平成24年度中に防災基本計画の見直しを行うと聞いております。従いまして、県や町における地位防災計画の見直しは、平成24年度以降になると思いますけれども、南海、東南海、東海地震の3連動地震の発生確率が高まっておりますので、できることから実施してまいりたいと考えております。今年度は先程も申しましたように避難場の位置決めを行う。できるだけ避難路を確保するというところで進めてまいりたいと考えております。そして、具体的施設整備につきましては、今後の国や県の防災計画の中での事業計画の実施、各事業の実施時期とも連動しながら進めてまいりたいと考えております。次に健康管理センターの件でございますが、現在、まだ議会にご承認いただいておりますので、具体的に相手方と協議を詰めるわけにまいりません。従いまして、本議会でご承認いただき次第、早急に協議いたしまして、休館や支障が出ないよう最善を尽くしてまいりたいと考えております。それから、道路の段差、不陸整備、改修についてですけれども、議員ご指摘のとおり、これまでも極力、予算の範囲内で公共施設内の段差解消であるとか、道路整備を行ってまいりましたが、役場周辺等、少し危険な箇所が散見されます。しかしながら、特に危険な箇所につきましては、役場の方にご連絡いただければ補修いたしておりますし、今後も町

内パトロールなどを実施し、危険個所の改修に努めてまいりたいと考えております。次に観光振興でございますが、町長の所信でも申し上げましたとおり、今後、保養観光をキーワードに観光振興に努め、交流人口の増加を図ってまいりたいと考えております。現在、牟岐町の観光資源をはじめあらゆる施設、自然を最大限活用した観光振興に取り組んでまいりたいと考えておりますので、議員の皆様方におかれましてもご協力のほどよろしくお願いいたします。それから、IT、ICT技術職員の採用ということでございますが、詳細は後で担当課長から申し上げますけども、IT専門職員は県においても採用していないと思います。と言いますのは、例えば、ホームページを政策、管理する場合、その業務密度に大きな偏りがあり、継続的な定量的な仕事が少ないということ、また、通常IT業務を行える年齢にある程度の制限と言いますか、限度があるということもございまして、専門職の雇いということは非常に現時点では難しいと考えております。町といたしましては、町職員のIT能力、技術の必要性は十分認識いたしておりますので、できるだけ若い職員の方に研修を受けてもらうとかして、技術者の養成を図ってまいりたいと考えております。次に小学校など各施設建設後の跡地利用についてでございますが、清水団地や各小学校や保育所などで各施設の有効利用は、今後の町政に重要な柱になってまいると認識しておりますので、できるだけ早い時期に関係各課、住民の方などからなる跡地利用検討委員会を設置いたしまして、できるだけ早く検討を進めてまいりたいと考えております。次にふるさと納税でございますが、現在の取り組みといたしましては、ホームページや近畿牟岐会総会などでの制度紹介により、寄付の依頼をいたしておりますが、今後、議員ご指摘のように町外転出者であるとか、既に転出されている方の情報も入手しながらPR、或いは、こちらから情報提供するとか、サーチの向上に努めてまいりたいと考えております。次に南阿波よくばり体験のことですけども、具体の数字は、後で担当課長から申し上げますが、受け入れをお断りする事例があることは認識いたしております。ただ、受け入れ先の確保につきましては、受け入れる方が未成年で様々な性格、体質のお子様を受け入れること。さらに受け入れるのが一般の住民であることなどから、生活習慣の違いであるとか、アレルギー体質の生徒さんの対応など、時には大変な苦勞をされているようでございます。このようなことから民泊戸数を増やすというのは、容易なことではございませんけども、受け入れ先の数を増やすことは限界なのかどうか、また、他の町での受け入れ先が増やせないのかどうかということを検討してまいりたいと考えております。以上でございます。

枅富議長 大森総務課長。

大森総務課長 私の方からは、防災計画の見直し、5番目の職員採用、7番目のふるさと納税につきまして答弁いたしたいと思っております。まず防災計画の見直しですが、地域防災計画は、災害対策基本法に基づくものでございます。東日本大震災を加味した国の震源モデルが出てきましてから、県のシミュレーションを根拠に地域の意見を反映させ計画を見直す作業を進めていくこととなります。国の震源モデルがいつ出るか分からない状況ですので、示されましたら直ぐに見直す作業にかかれるよう。今現在、自主防災組織、町内会へ避難所見直しの検討をお願いいたしております。早急にシミュレーションを進めていただけるように、国、県への要望をしまいたいと思っております。また、町単独で見直しができる部分につきましては、随時改正を行ってまいります。現在、議員の地域防災計画の冊子につきましては、総務課で改正のためお預かりしておりますので、部分的な改正を加えまして、早急にお渡ししたいと思っております。続きまして、職員採用でございます。本年度の職員採用の試験につきましては、保健師と一般事務を予定しております。7月11日に告示しまして、25日から8月8日まで受付を行います。そして、9月18日に徳島市で一次試験、統一試験を行う予定となっております。横尾議員のおっしゃるとおり情報処理技術者につきましては、当然必要な職でございますが、牟岐町規模につきましては、専門職として雇用するのは難しいと思っております。先程、町長が答弁しましたように、現在の職員の中で勉強していただきまして、養成していく方向で取り組みたいと思っております。尚、本町では一次試験につきましては、徳島県の町村会が行う統一試験により実施しております。この中で試験科目でございますが、一般事務のほか専門職としまして、土木、建築、電気、機会、化学、保育士、幼稚園教諭、獣医師、薬剤師、保健師、栄養士、看護師、消防職員となっております。次にふるさと納税でございます。平成20年度にふるさと納税制度ができて、本町での実績でございますが、寄附金の受け入れにつきましては、20年度に6件57万円、21年度は4件で27万円、22年度は4件で40万5千円、今年度23年度は、現在まで1件で20万円となっております。合計で15件、144万5千円を受け入れております。現在までの取り組みといたしましては、ホームページ上で制度の紹介、また、近畿牟岐会の総会時に制度の紹介と寄附の依頼を行ってまいりました。町の制度について、新しくパンフレットの作成、ホームページの更新を含め周知を図りたいと思っております。また、町外へ転出される方についてのPRについても検討いた

したいと思っております。それから、寄附された方への情報発信についても行ってまいりたいと思っております。以上でございます。

枘富議長 寒葉産業建設課長。

寒葉産業建設課長 私の方からは、横尾議員さんのご質問の中身でございます。健康センターについて、道路段差、不陸整備、改善、改修について、観光振興について、南阿波よくばり体験についての4点につきまして、町長答弁の補足という形でお答えしたいと思います。まずは健康管理センターについてでございますが、今回、町長も先程のご答弁でございましたが、今回の定例議会にご提案させていただいております指定管理者の指定によりまして、委託期間を平成23年7月1日から平成26年6月30日の3年間を予定しております。新たに指定管理者として管理していただく協議によりまして直ぐに7月1日より移行するのは難しいので、引継期間といたしまして、3カ月ぐらい必要という申出を受けておりますが、この定例議会でご承認をいただければ、まずは健康センター等に貼り紙等によりまして周知を行いたいと考えます。また、町民の皆様方には新旧の指定管理者との引き継ぎ協議等が完了次第、新聞等の折り込み等でお知らせしていきたいというふうに考えております。それから、続きまして、道路段差、不陸整備改善、改修についてでございますが、町道の中で特に路面等の状況が悪い舗装、側溝につきましては、昭和40年半ばごろから整備された箇所でございますが、約40年が経過しております。側溝につきましても側壁の亀裂、側溝蓋の老朽化、舗装につきましては、路面の凹凸や表面に石等が出ている状況が出ている路線もございます。議員ご質問の交通弱者、歩行者及び自転車等の安全な通行に支障をきたす箇所につきましては、特に危険な箇所につきましては、現在応急に補修等により対策は講じているところでございます。また、公共施設等の出入時の路面についての段差につきましては、これは調査の上、段差解消の対策を講じていきたいというふうに考えております。尚、今後町道関係の監視等につきましては、職員の少ない状況でございますが、可能な限りパトロール等を実施いたしまして、監視を強化したいというふうに考えております。今後抜本的に改良、改修が必要な路線等につきましては、国、県の補助事業の力を借りながら、年次的に計画を立てまして、予算的に非常に厳しい財政でございますが、危険度の高い順から改修の検討をしてまいりたいというふうに考えております。それから、観光振興につきましてでございます。観光につきましては、町長も所信表明にて申し述べましたが、

牟岐町におきましては、自然豊かな観光資源が沢山あります。それを活かすためにも自然と共存した観光資源の開発、観光ボランティアの育成、受け入れ態勢の整備、また、経済的波及効果の高い滞在型、或いは、体験型観光、情報の効果的な発信と情報提供の充実、交流機能の強化等を図っていく必要があると考えております。さらには他の第一次産業と連携した特産品作り、また、商工会、ボランティア団体との連携によって、経済的に牟岐町の就業機会の拡大と若者に魅力ある町づくりとして、担当課としても考えていきたいというふうに思っております。次に観光協会につきましては、牟岐町の観光イベント、特に姫神祭り、納涼花火大会、阿波踊り競演会等を事業として実施していただいております。会員の方々は町内のそれぞれの分野からなりまして、観光客の誘致活動、観光案内、宣伝活動、体験型観光の推進等を実施していただいております。また、本年度からは姫神祭りの実行委員会を立ち上げまして、町一丸となって開催する事業として計画をしていただいております。町といたしましても観光協会を町の観光事業の核となるように支援をいたしたいと思っておりますし、今後牟岐町の観光行政を共に進められるように連携していきたいというふうに考えております。それから、最後になりましたが、南阿波よくばり体験についてでございます。受け入れ先をお断りしているというご質問につきましては、現在、200人以上の生徒を民泊2連泊させて欲しいなどというような申込みにつきましては、お断りをさせていただいている状況でございます。その理由につきましては、民泊の受け入れ先が少ないためでありまして、牟岐町で民泊先の受け入れ件数は、45件、それから、海部郡全体では97件という受け入れ態勢の関係でございます。牟岐町においてもそうでございますが、海部郡3町で町民の皆様のご理解を得て受け入れ家庭を増やす努力はしていかなければならないというふうに考えております。それから、このことから地元の情報発信、情報共有につきましては、大変重要であると考えておりますので、今後協議の上、対応していきたいというふうに考えております。それから、修学旅行をコーディネートしていく上で、民泊先の数、ホテル、民宿、旅館、体験プログラムの数、一つの体験での受け入れ可能人数などのバランスが重要でありまして、民泊先の数だけ増えても体験受け入れ人数がそれに伴わなければ、ツアーとしては成立しないという状況でございます。従って、民泊先の数を増やすと共に各地区で体験プログラム開発を同時に行わなければならないというふうに考えておりますし、また、一度に数百名が訪れる修学旅行では、地元経済に伴う経済効果も大きく、様々な分野が一致協力して体験型観光に取り組むことは、地域の活性化に繋がっていくというふうに思っております。平成23年度においても4月から現在、約3カ月間、現

在まででございますが、教育旅行といたしまして9校、1,146人余りが利用しております。本年度7月以降につきましても教育旅行5校、553名の本予約が入っております。それから、仮予約といたしまして2校、318名という数字、318名の方も仮予約として入っている状況でございます。さらには24年度につきましても、教育旅行といたしまして、13校、2,100人余りが既に予約が入っている状況でございます。体験型観光につきましても、高齢者にとっては、子ども達との触れ合いが生きがいになる場合もあるというようなことで、農林漁業体験では、経済効果も生まれてくる。マリンスポーツなどでも誘客に繋がっている状況でございます。都会の子ども達の教育の側面もありまして、自然環境保全の大切さを多くの人に知ってもらうこの一役も担っておりますので、今後も南阿波よくばり体験につきましても、海部郡3町協同で運営しております。そういう中で今後とも海部郡3町の活性化のために協議してまいりたいというふうに思っております。以上で答弁終わらせていただきます。

枅富議長 横尾議員。

横尾議員 道路段差の件におきまして、私の方で一つ考慮していただきたい点がありますので、一つお願い申し上げます。交通弱者と申しまして、私の方から直接ご意見いただいたお年寄りが来まして、その方は電動スクーター利用者なのです。家の前から出ていくのに坂道で、そこで道路との境の段差がある。非常に毎日のことなのでという答えなので、そういう弱者の方は、町内で危険なところが分かっていると思いますので、そういうことも危険度の増すところからということなのですが、そういう点からもお願いしたいと思います。南阿波よくばり体験のことなのですが、受け入れられない事情も分かりましたが、後、もっと関心を持っていただくという意味では、牟岐町に事務局があるので、今現在、どういう学校の生徒がどういう体験でのプログラムをしにきていますというふうな放送の案内もする必要があるのではないかと思います。如何でしょうか。

枅富議長 寒葉産業建設課長。

寒葉産業建設課長 只今の横尾議員さんの再問ですが、まず町道と個人の宅地と言うか、出入口の段差ということでございます。これにつきましても、一応、現地を教えてくださいながら現場を確認して、対応できるものは対応していくということをお願いしたい

と思います。それから、南阿波よくばり体験の情報発信というようなことで、放送というようなご質問でございましたけれども、これにつきましては、総務課の方と協議をしながら情報発信については、大変重要なことだと考えております。ただ、放送が妥当なのかどうかについては、協議をして進めていきたいというふうに考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

枘富議長 横尾議員。

横尾議員 私の方からは、以上なのですが、できるところから、是非取り組んでいただきたいと思ひます。